

■ドイツ・デンマーク：Ørsted、バルト海で洋上風力ハブ構想を提案

エネルギー情報誌は2019年11月25日、洋上風力事業を積極的に進める Ørsted が、バルト海で複数の洋上風力発電所と沿岸諸国を結ぶハブ構想を提案したことを報じた。この構想は、バルト海南部の Bornholm 島（デンマーク領）を拠点として、全体で 500 万 kW の洋上風力発電所とデンマーク、ポーランド、スウェーデン、ドイツを送電線で結ぶものである。Bornholm 島の南西部は、デンマーク政府が洋上風力海域として既に調査を行っており、Ørsted では入札手続きを急ぐよう政府に働きかけている。このような洋上風力発電所を具体化し、これと並行して送電線設置や水素製造を検討することで、エネルギーを中心とした大規模な事業を推進することが可能となる。なお、このような洋上風力を複数の沿岸諸国と結ぶ事業としては、北海で人工島を建設する計画があるが、Ørsted では、人工島を建設するのではなく、既存の島を使ったハブ建設を提案すると話している。